unicef for every child

千葉県ユニセフ協会機関誌

ともだち

第52号

2022年3月発行

16 平和と公正をすべての人に

東部ヨーロッパに位置するウクライナでは、2022年2月からつづく緊張状態、および8年にも及ぶ東部の紛争によって、750万人の子どもたちの命と生活が差し迫った脅威にさらされています。ウクライナ政府管理下にある地域と親ロシア派が支配する地域を分断するコンタクト・ライン（接触線）沿いの治安情勢は非常に不安定な状態が続いています。ウクライナ政府は2月23日に、翌24日からの全国的な非常事態を宣言しました。

©UNICEF/UN0243152/Morris VII Photo

ウクライナの子どもの命と尊厳を守るために！緊急募金のご協力をお願いします！

ユニセフでは
①水と衛生…給水車での水の提供、飲料水の配布
②子どもの保護…子どもの保護ホットラインの設置、避難している子どもへの支援
③教育…教師への心理社会的支援などに関する訓練
④社会的保護…厳しい状況にある家庭への現金給付、物資支援など
ウクライナの子どもたちの命が守られ、学ぶ権利や遊ぶ権利が奪われないよう活動を展開していきます。

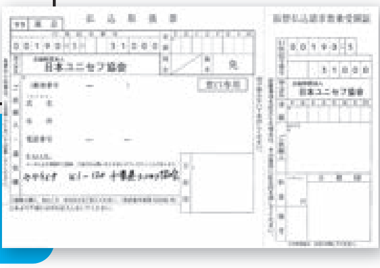
〈お知らせ〉ゆうちょ銀行の硬貨取り扱い手数料はかかりません（窓口でのお支払いの場合）

ゆうちょ銀行のサービス改定につき、2022年1月17日以降、現金でのお振込み時に硬貨手数料が新設されましたが、下記の口座については手数料免除口座のため、**硬貨手数料・振込手数料**ともに、かかりません。

振替口座：00190-5-31000
口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
＊通信欄に「ウクライナ」K1-120 千葉県ユニセフ協会と明記ください。
＊窓口でのお振込は、各種手数料が免除されます。

※振込用紙を送付させていただきます。ご連絡ください。
043–226-3171
（平日10時～16時）

手数料無料の振込用紙



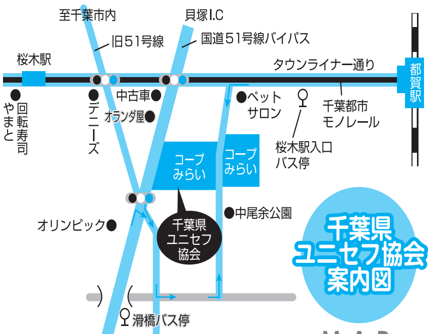
©UNICEF/UN0597997/Skyba for The Globe and Mail
首都キエフで、破壊されたアパートの前に立つ女の子。（ウクライナ、2022年2月25日撮影）

CONTENTS

1 ウクライナ緊急募金にご協力を
2～5 Welcome UNICEF 知ることから始めよう
4～5 役員一覧・役員からのメッセージ
6～7 2021年夏休み企画
8～11 ユニセフハンド・イン・ハンド千葉
12～13 ユニセフ・ラブウォーク
14 使用済み切手でSDGsの取り組みを
15 活動ファイル
16 ご協力ありがとうございました

INFORMATION

千葉県ユニセフ協会
月～金 10時～16時（祝祭日休み）
〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30
コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館
TEL：043-226-3171
FAX：043-226-3172
Eメール：info@unicef-chiba.jp
ホームページ：www.unicef-chiba.jp
↑ホームページへリンクします



MAP

ACCESS

★JR都賀駅東口下車 徒歩約15分
★モノレール桜木駅下車 徒歩約5分
千葉市若葉区桜木北2丁目26番30号
コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館

Welcome UNICEF 知ることから始めよう

SDGs目標6　安全な水とトイレを世界中に

6 安全な水とトイレを世界中に

日　時：11月27日(土) 13時30分 ～ 15時40分
会　場：ホテルグリーンタワー幕張　4F　ロイヤルクレッセント ウエスト
講　師：千葉県企業局水道部計画課 主幹(兼)技術指導室長　小林保雄氏
　　　　博士(理学)・筑波大学生命環境系教授　内海真生氏
参加者：65名（一般参加31名／市原中央高校インターアクト部6名／
　　　　千葉県ユニセフ協会理事・評議員19名／ユニセフスタッフ9名）
募金額：6,898円（ハンド・イン・ハンド千葉として）

講演会場ではネパールでの水汲み用の水がめ等を展示

講演に先立ち中山会長より挨拶

Ⅰ. 第一部は千葉県企業局水道部の小林主幹（兼）技術指導室長により「千葉県営水道の国際貢献-東ティモール民主共和国への上水道技術支援-」についての講演

東ティモール民主共和国はインドネシアの東方の人口126万人の島国です。

配水管の整備は首都圏に限られ、ほぼ井戸水に頼っています。その水道水も使用できるのは1日6時間に足りない状況です。

千葉県企業局は東ティモールで、配水管の敷設や漏水検知方法、水質管理の指導を行っています。水汲みは子どもや女性が主に担っており、水道施設を整備することはSDGs目標4（質の高い教育）、目標5（ジェンダー平等の実現）にも繋がると考えます。

東ティモールでの活動について説明を行う小林氏

Ⅱ. 第二部は筑波大学、内海真生教授が水資源・水の浄化についての講演

1. 水資源の重要課題

水は人間の生命・健康の維持、生態系の保全には絶対に必要で、経済活動の基礎でもあります。地球の水の97.5%は海水が占め、人間が利用できるのは0.01%しかありません。

水の問題は水不足と汚染の2つであり、2025年には5億人が水不足となり、10億人が安全な水が手に入らない見通しです。

世界中で湖や水源の枯渇が報告されていますが、その要因の一つが温暖化です。自然界における水を浄化する機能は雨しかなく、それは全水量の0.003%でしかなく、積極的に水の汚れを防止するには下水処理を進めていくことが重要です。

水資源の課題について説明を行う内海氏

2. 日本の水資源の課題

日本は水が豊富と思われがちですが、世界的に見て、一人当たりの年間降雨量は世界平均の半分程度です。

現在、日本の河川の水質はきれいになっていますが、湖沼の水の汚れはなかなか改善されていません。湖沼は農薬や生活排水のため、富栄養化（水域がチッソ、リン酸等の栄養が過剰な状態）となり、アオコ等の植物プランクトンが大量発生し、汚染や悪臭を発生させています。

3. 水の浄化に向けて私たちが取り組むべきこと

人口増となる将来、生態系を支えるには食物の総生産量を増やさなければなりません。汚れた水源をきれいにし、水質を改善出来ても生態系を以前のように蘇らすことは難しいとはいえ、富栄養化をバランス良くコントロールしていくことが必要です。

水をとりまく環境は温暖化により、厳しくなっています。水資源を継続的に利用するため、水の知識を高め、知恵を絞ることが求められます。

Ⅲ. 第三部は千葉県ユニセフ協会大久保理事の進行で、事前や当日会場で頂いた質問に回答する形でトークセッション

大久保理事が質問を読み上げ、小林主幹と内海教授が回答してセッションは進められました

「ヨシを使って湖沼の浄化を行っていると聞きました」

➡千葉県では印旛沼、手賀沼にヨシを植え、浄化を図っています。また、臭い対策としてオゾンや活性炭脱臭も行っています。

「水道水は安全なのでしょうか。また、おいしい水とは」

➡日本の水道は塩素が含まれており、世界的にも安全な水です。水のおいしさはミネラル分と塩素分の割合が関係しており、塩素分が少ない方がおいしい水と言えます。安全性を高めるために水質の塩素分を維持しながら、おいしさを上げるため、時期に応じて塩素分を必要最低限にコントロールしています。

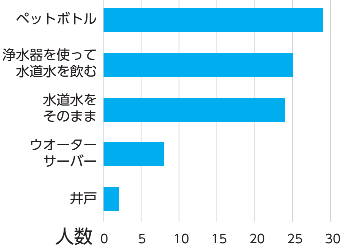
募金の声かけ

毎日新聞に当日の様子が掲載されました

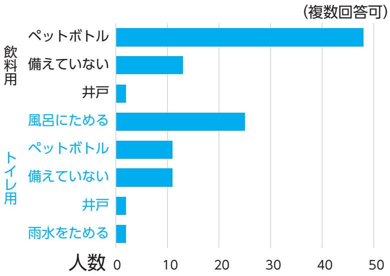
福本事務局長と市原中央高校インターアクト部によるアンケート結果発表

参加者のみなさんからいただいたアンケート結果は以下の通りです。(64名参加)

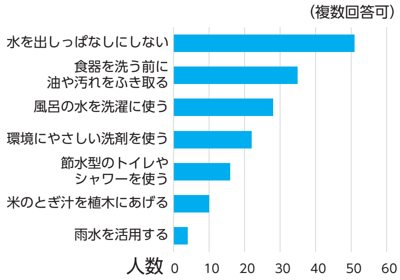
どのような水を日頃飲んでいますか



災害時の水をどのように備えていますか



水資源を守るためのマイアクション



6 安全な水とトイレを世界中に

命を支える水 —限られた水資源を使う工夫—

海の水は蒸発して雲になり雨を降らせ、山の森林に蓄えられやがて清水をつくる。清水は小川になり大河になって海に注ぐ。そう、水は地球の中で循環し、私たちは生きるために水を様々なことに使っている。しかし世界では、水源が乏しい地域に暮らす人、水質汚染や干ばつにより安全で安心して使える水を得ることが難しい状況の人も多い。そのような状況でも、人々は工夫を凝らして“命を支える水”を手に入れている。

今、日本では、水道から当たり前に出てくる水。
でも、災害に襲われたら、その当たり前が当たり前ではなくなる。
地球温暖化が進み、かつてない災害に見舞われる今日だからこそ、
考えよう、水の大切さを。見直そう、水の使い方を。

雨水を貯める

©日本ユニセフ協会
雨水をためて使う水がめ(カンボジア)

© UNICEF/UN0582135/Wolfgramm
2022年1月、海底火山の爆発により津波と火山灰の被害に見舞われたトンガでは多くの家庭で雨水をタンクに貯めて生活用水として使っている。雨水や貯水槽に混入した火山灰を浄水フィルターなどで取り除く必要がある。(トンガ)

井戸をつくる

© UNICEF/NYHQ2006-2862/Pudlowski

汚染された水を浄化する

© UNICEF Bangladesh/2009/Sharmin
水源がヒ素で汚染されているため、手押しポンプでくみ上げた水をサンドフィルターに通してきれいにしている。(バングラデシュ)

水を浄化できるセラミック製のフィルター。
費用も安くどこでも使用できる。
出典:Household Water Treatment Filters Product Guide April 2020 UNICEF

海水を淡水に変える

© UNICEF State of Palestine/2017/Weibel
地下水の過剰な汲み上げが原因で、下水や化学物質を含む地中海の塩水が土壌に浸透し飲み水が汚染されてしまったガザ地区。海水の水を淡水化する「脱塩浄水場」が2017年に完成、安全な水を届けている。(パレスチナ)

千葉県ユニセフ協会　役員紹介

敬称略・50音順にしております（2022年3月15日現在）

県協会役職	お　名　前	役　職　名
顧　　問	熊谷　俊人	千葉県知事
顧　　問	神谷　俊一	千葉市長
会　　長	中山　俊憲	国立大学法人千葉大学学長
副 会 長	麻生　博章	株式会社千葉銀行常務執行役員
専務理事	首藤英里子	生活協同組合コープみらい常務執行役員千葉県本部長
常務理事	伊藤　　稔	（公財）ちば国際コンベンションビューロー代表理事
常務理事	黒坂　典雄	千葉県青少年団体連絡協議会会長
常務理事	鈴木　國夫	（公財）日本ユニセフ協会顧問
理　　事	入江　康文	（公社）千葉県医師会会長
理　　事	大久保利宏	敬愛大学経済学部特任教授
理　　事	大澤克之助	株式会社千葉日報社代表取締役社長
理　　事	片平　紀行	日本ボーイスカウト千葉県連盟理事長
理　　事	佐久間英利	（一社）千葉県商工会議所連合会会長
理　　事	佐々木博子	生活協同組合パルシステム千葉理事長
理　　事	柴田加寿子	（一社）ガールスカウト千葉県連盟連盟長
理　　事	染谷　光男	キッコーマン株式会社特別顧問
理　　事	田村明比古	成田国際空港株式会社代表取締役社長
理　　事	林　　幸子	生活協同組合コープみらい理事
理　　事	林　　茂壽	千葉県農業協同組合中央会代表理事会長
理　　事	吉田　謙次	株式会社オリエンタルランド代表取締役社長
監　　事	熊谷　俊行	株式会社京葉銀行取締役頭取
監　　事	三浦　亜紀	千葉県弁護士会会長

県協会役職	お　名　前	役　職　名
評 議 員	安藤　　淳	東京新聞千葉支局長
評 議 員	石井　智康	石井食品株式会社代表取締役社長
評 議 員	伊東　　隆	千葉県中学校長会会長
評 議 員	内田　淳一	千葉県小学校長会会長
評 議 員	小布施祐一	読売新聞千葉支局長
評 議 員	釜范　德行	千葉県高等学校長協会会長
評 議 員	神永　幸宗	中山身語正宗関東別院誓照寺副院主
評 議 員	上山　精一	千葉県生活協同組合連合会専務理事
評 議 員	河合　克美	株式会社千葉ロッテマリーンズオーナー代行兼代表取締役社長
評 議 員	坂本　雅信	千葉県漁業協同組合連合会代表理事会長
評 議 員	篠塚　　泉	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長
評 議 員	玉田　浩一	株式会社ベイエフエム代表取締役専務
評 議 員	徳永　澄憲	麗澤大学学長
評 議 員	永富　博之	日本労働組合総連合会千葉県連合会会長
評 議 員	名雪　雅美	農事組合法人和郷園 総務部長
評 議 員	浜口　好博	イオンリテール株式会社取締役常務執行役員南関東カンパニー支社長
評 議 員	長谷川　豊	毎日新聞社千葉支局長
評 議 員	林　　昇志	株式会社グリーンタワー社主
評 議 員	細田美和子	日本放送協会千葉放送局 局長
評 議 員	前田　　伸	株式会社マザー牧場代表取締役社長
評 議 員	松田　京平	朝日新聞社千葉総局長
評 議 員	水越　雅信	DIC株式会社常勤顧問 DIC川村記念美術館館長
評 議 員	美濃地　誠	株式会社ホテルオークラ東京ベイ代表取締役社長総支配人
評 議 員	森本　　航	ジェフユナイテッド株式会社代表取締役
評 議 員	谷沢　健一	NPO法人谷沢野球コミュニティ柏理事長
評 議 員	吉田　和子	（公財）吉田記念テニス研修センター評議 員
事務局長	福本　朋子	千葉県ユニセフ協会 事務局

講演会終了後に千葉県ユニセフ協会役員顔合わせ会を開催しました。

11月27日（土）Welcome UNICEF知ることから始めようの講演会終了後に、別会場にて役員顔合わせ会を実施しました。春以降、大幅に役員が交代した中での初めての対面での役員顔合わせ会となりました。顔合わせ会では、自己紹介、ユニセフに対する思い、講演会の感想・ご意見、講演会に合わせ実施したアンケートに対する思いなどをお話しいただきました。

千葉県ユニセフ協会 第23回理事会・評議員会

12月21日（火）ホテルグリーンタワー幕張にて第23回理事会・評議員会を開催しました。

理事会においては、株式会社千葉銀行常務執行役員である麻生博章理事が副会長に選任されました。

また、理事会・評議員会それぞれで2022年度事業計画案・予算案が審議され、承認をいただきました。

役員の皆さまが一堂に会する理事会・評議員会では意見交換の時間があり、県協会の活動の方向性やテーマなどについて話し合われます。今回は、2022年度に開催する「ユニセフのつどい」「Welcome　UNICEF」の講演内容について意見交換が行われました。この場で出たアイデアをもとに講演者の選定や内容などを形にしていきます。

役員からのメッセージ

日本ボーイスカウト千葉県連盟
理事長
片平 紀行

ボーイスカウト活動は、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕出来る能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ、誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義を把握し、実践出来るよう教育することを目的としております。

人には、それぞれ生まれもった才能もあれば、成長するにつれて興味を持った趣味などがあり一人ひとりが、個性豊かな可能性を秘めています。

ボーイスカウト活動では子どもたちの成長にあわせ、個性を伸ばしながら、社会人として必要な資質を一つずつ体験的に身につけていくために、必ず身につけるべき共通のもの（修得課目）と、各人の趣味や得意な技能を伸ばすもの（選択課目）があり、修得課目は色々な活動を通じて、人格形成、健康維持・増進、各種技能修得、奉仕活動などの課目があり、また、これらの修得課目は野外活動を中心に自ら体験する事により修得されていきます。

現在、千葉県連盟では約4,500人の加盟員がこれらのプログラム活動の中で、SDGsの目標達成に向けた活動やハンド・イン・ハンド募金などの奉仕活動を通じてユニセフ協会の活動趣旨の理解を深めると共に、体験を通じてユニセフの取り組みと連携した活動を行って参ります。

（一社）ガールスカウト千葉県連盟
連盟長
柴田 加寿子

このたび千葉県ユニセフ協会理事に就任いたしましたガールスカウト千葉県連盟の柴田加寿子です。よろしくお願いいたします。

ガールスカウトは、毎年のハンド・イン・ハンド募金への協力、ユニセフ・ラブウォークや学習会などを通じて、世界の子どもたちを取り巻く現状やユニセフの活動について学ぶ機会をいただいています。

世界的現代的な課題に対する独自の活動としては、2008年から世界中のガールスカウトが『“girls worldwide say”一緒にならこの世界を変えられる』を合い言葉に、国連のミレニアム開発目標(MDGs)と連動したグローバルアクションテーマに取り組んできました。極度の貧困や飢餓の撲滅、ジェンダー平等の推進と女性の地位向上、環境の持続可能性の確保など、2015年までに達成する具体的な8つの目標が掲げられていました。

そして、その取り組みは現在のSDGs（持続可能な開発目標）につながっています。目標達成のためには一人ひとりが「自分ごと」としてとらえることが大切だと言われています。未来の世代に持続可能な世界を手渡していくために、今、私たちができる日々の小さなことをおろそかにせずに、力を合わせて行動をおこしてまいりましょう。

株式会社オリエンタルランド
代表取締役社長
吉田 謙次

このたび千葉県ユニセフ協会理事に就任しました株式会社オリエンタルランドの吉田謙次です。

弊社は人々に「夢・感動・喜び・安らぎ」を提供し、ゲストの皆さまのハピネスを創造することを企業使命としています。その中でも特に「子どものハピネス」を創造することを、永続的な経営を目指す上での重要課題として掲げています。未来を担う子どもたちへの夢や心を育む原体験を提供することで、笑顔が広がる豊かな社会の実現につなげていく。そのような想いを持ち、子どもたちを支える活動と、子どもたちを育む活動に取り組んでいます。

ユニセフの活動目的は、全ての子どもたちの命と権利を守ることです。

世界中には満足な教育も受けられなかったり、生きていくのに最低限の水や食料を得られなかったりする子どもが多数存在します。このような世界の先に、人類にはどのような未来が待ち受けているのでしょうか。この時代を生きる人として、企業として、未来に対していかなる責任を果たすべきかが問われていると思います。

まず自分自身には何ができるのか、そのようなことを考えながらユニセフの活動に取り組んでいきたいと思っています。宜しくお願いします。

unicef for every child

2021年夏休み企画 SDGsで考えよう世界のこと

環境問題についての記事を読みながら新聞を作ってみる「新聞教室」とアフリカを実際に取材した時のお話を聞く「アフリカの今」を、夏休み企画として実施。参加者には参加証を送付。夏休みに頑張った子どもたちに拍手です。
（オンライン開催）

参加の子どもたちや保護者の方からこんな感想をいただきました!一部を紹介します。

8月17日（火） 14時～ 16時
自分だけの新聞を作ろう!新聞教室

対象：小4～中3
講師：読売新聞千葉支局長　小布施祐一氏
参加者：11名

- しんぶんづくりがこんなにたのしいとは、思ってなかった。
- 説明が、とてもわかりやすかったです。さらに、作った新聞のアドバイスも嬉しかったです。クイズなども出していただきありがとうございます。とても楽しかったです。新聞を作るのは、どこに何を書いたらいいのかがよくわからなくて難しかったです。みんな感想を長文で書いていて、短文だった私は、これで発表していいのか戸惑いました。見出しは7～9文字で、とか、五七五で書くといいということは初めて知り、参考になりました。夏休みの宿題のSDGsの新聞作りも、はかどりそうです。本当にありがとうございました。

《保護者より》

- こどもが自分で考えるきっかけになった。
- SDGsについて学べて良かった。
- 当初、本人はZoom参加は興味があったのですが、新聞作りや自己紹介には抵抗感を示していました。しかし恥ずかしがりながらでもなんとか自己紹介でき、新聞も恐る恐る発表したら、小布施さんからお褒めの言葉をいただき、それぞれがとてつもなく嬉しかったようですし、自分はできるんだという自信にもつながったようです。また、今日、ネットを見ていたらユニセフというワードが出てきたらしく、「ユニセフって昨日新聞作った時に見たよね。」と言っていました。そして、昨日興味を持った「代替肉」を使った商品を食卓に並べてみました。いくつか味比べで出しましたが、ほとんど美味しいと言って食べていました。息子にとってとてもよい経験だったと思います。大人の私もためになるお話でした。参加させていただきありがとうございました。
- 最初は子供も緊張していたようですが、楽しく参加させて頂きました。日頃、子供新聞も購読しており、スクラップはスムーズに取り組んでいました。今日教えて頂いたスクラップの基本を参考に、スクラップの腕をレベルアップしてほしいと思います。SDGsに関する学びは公立小中学校でも取り組んでおり、本人にとって、今日のイベントは大変参考になったようです。ありがとうございます。親も横で楽しく見させて頂きました。

8月20日（金） 14時～ 16時
気候変動を学ぼう!アフリカの今

対象：小4～中3
講師：フリージャーナリスト　下村靖樹氏
　　毎日新聞社千葉支局長　長谷川豊氏
参加者：8名

- 本日は短い時間でしたが、参加させていただきありがとうございました。アフリカの一部の国では気候変動が原因となり、子ども達の教育の機会が奪われたり生活のために移住を余儀なくされるなど様々な問題が発生していることがわかりました。ありがとうございました。

《保護者より》

- 子どもにとって実際の現場で働く人の話は、字で見たり人づてに聞くよりササるようで、講師の方と話す機会が持てて良かったです。講師の方の「アフリカの子どもたちがかわいそう、日本の子どもたちが幸せということではない」と豊かさの多様性や複雑さを話していて、その本質的な意味を今回ではなくても、いつかわかったらいいなと思います。
- 小4の息子に今回のような機会に初めて参加させました。息子は腕がペットボトルのキャップほどの太さしかないということに驚いていましたが、新聞記者の方やフリージャーナリストの方と接する機会はなかなか無いので息子にとって貴重な経験でした。ありがとうございました。

参加証をひとりひとりに送付しました

**今年の夏休みも
子どもたちが参加しながら世界を知り
SDGsについて
学びを深める企画を開催します。
ぜひご参加ください!**

夏休みユニセフ ボランティア活動の体験「切手仕分けボランティア」

オンラインによる使用済み切手の仕分け体験を東葛ブロックと佐倉・八千代ブロックで開催しました。

当日は個人で、ご家族で参加してくださいました。中には東京から参加してくれた高校生もおりました。皆さん初めての切手の仕分け作業で、彩り豊かな切手一枚一枚眺めながら、十数分の作業でしたがとても楽しく、充実した活動ができました。作業の後で、ユニセフの活動や世界の子どもたちの様子などについて学び、参加した幼稚園生や小学生は「楽しかった」「いろいろな切手があったので楽しかった」「使用済み切手が、世界の子どもたちのためになることを初めて知った」「家にある使用済み切手を捨てないで送ります」などの感想を。また、高校生などは「小さなことでも大切にしたい」「将来少しでも人々の役に立ちたい」などの感想をいただきました。

また、後日作業済みの使用済み切手を返送いただいた方に感謝状をお送りしました。

感謝状

実施日 8月5日（木）10時30分～11時45分 参加者22名／8月19日（木）10時30分～11時45分 参加者11名（オンライン開催）

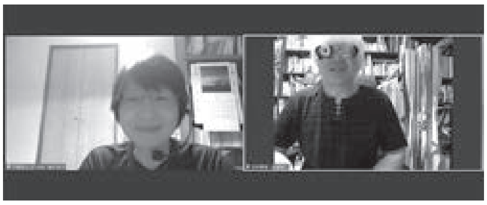
ユニセフ国際理解講座（オンライン開催）

日時：8月30日（月）20:00 ～ 21:30 参加者53名

スポーツの力～ザンビアのパラリンピアンはTOKYO2020に何を見る？～

アフリカのザンビア共和国でアルビノのパラリンピアンとして東京パラリンピック女子400mに出場したモニカ・ムンガ選手を指導した野﨑雅貴さんをゲストスピーカーにお迎えし、ザンビアという国の魅力や、ザンビアにおけるスポーツと障害についてお話を伺いました。JICA千葉デスクの木村明日美さんに司会進行役を務めていただきました。ザンビアは、アフリカの南東にあり、日本からは約一万キロ、飛行機で乗り継ぎ30時間ほど離れたところにあります。元はイギリス領でしたが、1964年の第一回東京オリンピック開催中に独立しました。首都はルサカで、周りは丘だらけですが、最近は高いビルも多く、市場はにぎやかで人々も親切で夜景は日本と同じくらいの風景とのことでした。有名なヴィクトリアの滝があり、雨の少ない地域だということです。鉱業、銅、農業、観光が主な産業で、人口の8割がキリスト教で土日はお祈りをする人が多いとのことです。ザンビア国内には73の民族が住み、地方によって格差が大きいとのことでした。ポンプで水を汲んで生活したり電気が使えないところもあるとのことでした。野﨑さんは大学を卒業後JICA職員としてザンビアの公立学校で体育の指導をしていました。学校では中学2年から高校3年までの生徒400人に先生20人でバレーボールの授業が行われていましたが、2人がけの椅子に座って先生の話を聞いているといった風景でした。日本のように外に出て体を動かすといった授業は今までなかったので初めての取り組みだったそうです。野﨑さんはパラリンピックナショナル陸上チームを指導していく中でパラスポーツの価値や可能性を見いだし、そのことが自分の人生が変わるきっかけになったと話していました。学生時代にサッカーをしていた野﨑さんは土日になるとサッカー部を作って子どもたちに教えていたそうです。パラスポーツはコロナ渦でも人生を豊かにしてくれると言っていました。また、袖ケ浦市在住でアルビノ当事者の石井更幸さんにもお話を伺いました。東京パラリンピックで聖火ランナーを務めた石井さんは、ロサンゼルス五輪のころに初めて聖火ランナーを知り、当時はまだ子どもながら様々な立場の人たちがいることに感動し今では世界中のアルビノ当事者とのつながりを持っているそうです。言葉は通じなくても感動しあったり、世界中の人たちとつながりが持てたとおっしゃっていました。アルビノについて、またご自身がその当事者としてつらいことがあってもそれを強さに変えて明るく生きている姿に私たちも感動しました。石井さんは中学生のころにやっていた柔道で礼儀作法を身に着けたと言っていました。今回もチャットを使って参加者と楽しく交流しました。最後にモニカ選手への応援メッセージとして参加者全員で「Tiyeni!monica!（がんばれ、モニカ!）」と現地の言葉で呼びかけました。

JICA海外青年協力隊員として活動した野﨑雅貴さんのお話



袖ケ浦市在住の石井更幸さんと県ユニセフ協会事務局長でトーク

最後に参加者全員でポーズ

できることからはじめよう

2021年のテーマ：すべての子どもの権利が実現される世界を～できることからはじめよう～

すべての子どもは世界のどこに生まれても、健康に、生まれ持って可能性を十分に伸ばして成長する権利があります。しかし、予防できる病気、紛争、自然災害、新型コロナウイルス感染症などにより、多くの子どもたちの権利が脅かされています。2021年も街頭募金は実施できませんでしたが、《できることからはじめよう!》をキャッチフレーズに 、ユニセフについて知らせる講演会や学習会の開催、オンライン募金への参加、動画の発信などを通じてユニセフの輪を広げていきました。

真珠まりこさん 講演会

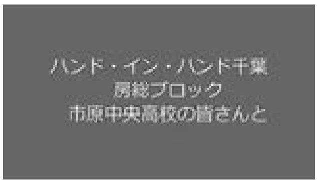
11月7日（日）　13:30～15:00　千葉市生涯学習センター　小ホール
参加者:37名（一般参加者22名　市原中央高校6名　ユニセフスタッフ9名）

「もったいないばあさん」「もったいないばあさんかわをゆく」に込められた思いを伺いました。また「もったいないばあさんと考えよう世界のこと」に登場する子どもたちの置かれている現状や、その子どもたちの思いについてのお話をいただき、「自分さえよければという考えを持たず、みんなで分け合う心があれば、平和な世界が必ずできる。どうしたらみんなで幸せに暮らしていけるかを考えていこう。できることをやらないなんてもったいない。」というもったいないばあさんを通した真珠さんからのメッセージに心打たれました。講演会終了後、真珠さんを囲んで、当日ボランティアとしてお手伝いしてくれた市原中央高校の生徒さん、ユニセフスタッフで交流会も実施。最後に高校生のみなさんと、「ハンド・イン・ハンド千葉」募金呼びかけの動画を作成しました。

真珠まりこさんに「もったいないばあさん」に込められた思いをお話しいただきましたした

真珠さん、市原中央高校のみなさんと記念撮影

当日の感想などを発表。高校生からは真珠さんにいろいろな質問が出ました



最後に動画を作成しました

松本猛さん 講演会
(対面&オンライン)

12月11日（土）　会場：千葉市美術館 講堂
参加者：64名（会場参加者34名　Zoom参加者18名　ユニセフスタッフ12名）

お人柄がにじみ出るような柔らかな笑顔の松本猛さんをお招きし、今回で4度目となる講演会「エリック・カールさんと私」を実施いたしました。お二人の出会いはエリックさんが初来日した1985年、当時は「絵本の絵描きは芸術家ではない」という風潮の中で、「いわさきちひろ絵本美術館」を立ち上げた若き松本さんの絵本に対する情熱を真摯に受け止めたエリックさんが「おんどり」という絵を寄贈されたことからはじまり、今年5月にエリックさんが亡くなるまで続きました。「子どもたちが小さいときに出逢うものは素晴らしいものでなくてはならない」との考えのもと、遊び心あふれるおもちゃのような絵本や素晴らしい美術館をつくられたことまた、松本さんもその美術館設立に携わったことなど、長い親交の中での数多くのエピソードやお茶目な一面のあるエリックさんのことをお話しくださいました。「忘れないでほしいのは楽しむこと　遊ぶ時間をつくること　そして自分でいること。」と最後に紹介してくださったエリックさんの言葉はとても深く心に響き「平和」や「自分らしく生きる」尊さをかみしめました。また来年も来ていただけるようお願いして講演会は終わり、その後は恒例のサイン会や写真撮影もあり、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

当日の様子を動画にしました。

千葉市美術館講堂
ソーシャルディスタンスをとりお話を聞きました

エリック・カールさんとの思い出やエピソードをはじめ、交流のある絵本作家とのエピソードなどもお話しいただきました

書籍頒布とサイン会を行いました

松本さんと記念撮影させていただきました

第16回ユニセフサポートゴルフ大会

2021年12月14日(火)　鹿野山ゴルフ倶楽部
主催:第16回ユニセフサポートゴルフ大会実行委員会　実行委員長　麻生博章理事
後援:千葉県　千葉市　君津市　木更津市　千葉テレビ放送　(株)ベイエフエム　朝日新聞社千葉総局
　　毎日新聞社千葉支局　東京新聞千葉支局　(株)千葉日報社　(株)マザー牧場　房総開発(株)
　　東京中日スポーツ　生活協同組合コープみらい千葉県本部
協賛:(株)千葉銀行　(株)京葉銀行　千葉テレビ放送　石井食品(株)　(株)和郷園　鹿納会　キリンビバレッジ(株)
　　(株)伊藤園　東京湾フェリー(株)　(株)ベイエフエム　龍宮城スパホテル三日月　東京サラヤ(株)
　　キッコーマン(株)　(株)マザー牧場　房総開発(株)　和蔵酒造(株)　(株)真田本店　(株)WATANABE
　　(株)グリーンタワー　連合神奈川　連合千葉　アサヒビール(株)　生活協同組合コープみらい千葉県本部
参加人数:148人
募金金額:参加費　370,000円(2,500円×148名)　ワンオンチャレンジほか募金　69,823円
　　　　合計　439,823円　(ハンド・イン・ハンド千葉)
内容:ゴルフを楽しまれる方々にユニセフへのご支援をいただくと同時に、国際理解を深める場とする

鹿野山ゴルフ倶楽部はユニセフ一色

受付でお預かりする参加費の一部はユニセフ募金に

歴代の委員長(早川様・木村様・稲村様)もご参加くださいました

アトラクション「ワンオンチャレンジ」ワンオンできなかったら500円募金

役員の皆さまはじめ多くの企業様より賞品を協賛いただきました

優勝者の賞品は液晶テレビ
準優勝者にはホテルグリーンタワー幕張の宿泊券

初代実行委員長　早川様を囲んで

レストラン内では「コロナ禍の子どもたち」パネルと支援品を展示してユニセフ活動を紹介しました

当日の様子を動画で作成しました

新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの開催。感染症対策のため、恒例の表彰式の開催は行わずモーニングハーフの順位によるコンペといたしました。

当日は冷たい雨が降るあいにくの天候ではありましたが、148名と多くの皆様にご参加いただき、ゴルフを親しまれる方々にユニセフ活動について知っていいただく機会を得ることができました。

学習会

ボーイスカウト・ガールスカウトの皆さんがユニセフ学習会を通して、ユニセフ活動や世界の子どもたちのことを一緒に考えました。

ボーイスカウト柏第1団・9団
「地球の食卓」を通して、食料事情や・生活などを学びました

ボーイスカウト船橋第1団
水くみの体験をしました

ガールスカウト千葉市協議会
オンラインユニセフ学習会
ネパール水の話・「識字」・100円でできることなど　後日募金を届けてくださいました

ボーイスカウト千葉第18団
「食料分配ゲーム」で世界の食の現状や不平等を学びました。募金贈呈式も実施

12/19(日) ふなばし三番瀬でごみ拾いをしました

朝日新聞社千葉総局　ボーイスカウト船橋第1団　第3団　千葉県ユニセフ協会
共同企画として、ふなばし三番瀬で学習会とごみ拾いを実施しました。

「持続可能な社会のために考えるべきこと・出来ること」をテーマに、学習会・ごみ拾いを実施しました。

第1部は、「環境問題について知る」を、朝日新聞社千葉総局長　松田京平氏にお話いただき、マイクロプラスチックや世界の環境問題について学びました。また、三番瀬の野鳥などについてのビデオも視聴しました。第2部は、実際にふなばし三番瀬で砂浜清掃活動を実施。いつもは大きなごみにばかり目がいきますが、よく見ると小さなプラスチックごみがたくさん見つかりました。参加した、ボーイスカウトの子どもたちも一生懸命にごみ拾いをしました。第3部は、「世界の環境・子どもたちの現状」について、千葉県ユニセフ協会福本事務局長が、実際に使用されている「ネパールの水がめ」や、支援品を使ってお話ししました。その後、各団からの募金を贈呈していただきました。お天気にも恵まれ、総勢100名を超す参加者となり、みんなで、SDGs目標12「つくる責任、つかう責任」　目標14「海の豊かさを守ろう」について考え、実行し、これからの行動の指針となるイベントとなりました。

朝日新聞社千葉総局長松田氏のお話し

ごみ拾いの様子

細かいごみがたくさん

ユニセフ学習会

終了後に参加者全員で記念撮影

募金贈呈式

船橋第1団

船橋第3団

今年も実施しました フレンドネーション募金

＊様々な動画を配信しました　QRコードをスマホで読み取ると動画がご覧になれます。
　今年も街頭募金が実施できませんでしたが、《できることから始めよう!》をキャッチフレーズに取り組みました。

★動画で知る:今年のハンド・イン・ハンド千葉のご紹介

2021年ハンド・イン・ハンド千葉の取り組みについての説明や、外国コイン・使用済み切手のご協力などを呼びかける動画を作成しました。

★学習会で行っている、地雷紙芝居の動画を配信

学習会で行っている　ユニセフこども物語"「地雷の怖ろしさ」をうったえるデスタアレムの願い"の紙芝居。ユニセフボランティアスタッフによる朗読の動画です。

★ボーイスカウト千葉14団近藤さんと

10年以上千葉駅でのハンド・イン・ハンドを行ってきました。近藤さんが子ども時代に飲んだ脱脂粉乳のこと、そのことが今のユニセフの活動につながっていることもお話いただきました。当時の日本の子どもたちの写真も登場します。

★市原中央高校の皆さんと募金の声かけ

毎年市原市内のショッピングモールにご協力いただき、市原中央高校の皆さんと、街頭募金を行ってきましたが、今年は実施できませんでした。募金声かけの動画をユニセフスタッフと作成しました。

★ガールスカウト千葉市協議会の皆さんと募金の声かけ

ガールスカウト千葉市協議会の皆さんとオンライン学習会終了後に募金の声かけ動画を作成しました。

★ガールスカウト千葉県第39団さんからの素敵な動画

毎年千葉駅で街頭募金をご一緒しているガールスカウト千葉県第39団の素敵な動画です。2020年に実施した学習会の様子や、スカウトたちの募金を通じて叶えたい未来への思い、募金の声かけの動画です。

動画配信だけでなく、ファミリーボックスで集まった募金を事務所に持参してくださいました。

ガールスカウト千葉県39団

ボーイスカウト千葉14団

おかげさまでフレンドネーション目標金額達成しました。ご協力いただいたみなさまありがとうございました。

募金額 116,769円

クリーンスパ市川での活動を紹介します

　市川・船橋ブロックで市川市に団体登録したところ、クリーンスパ市川様よりお声かけをいただきました。クリーンスパ市川は、市川市クリーンセンターの余熱を利用した天然温泉や温水プールなどがあり、地域の方々に人気のあるスポーツ施設です。10月25日(月)から11月8日(月)まで1階のロビーでユニセフパネル展が実施されました。また、パネル展に併せて受付にユニセフ募金箱と外国コイン募金箱を12月末まで設置していただき、ハンド・イン・ハンド千葉として活動を展開しました。。
　クリーンスパ市川様のご協力で多くの方にユニセフ活動を知っていただくよい機会ができました。今回のイベントをきっかけに市川市での活動の輪を広げていけたらと思います。

パネル展示

受付に設置した募金箱

楽しんで！学んで！社会貢献 ユニセフ・ラブウォーク 開催しました

ユニセフ・ラブウォーク IN 銚子

ユニセフスタッフ・協力者の皆様と記念撮影

2021年10月23日（土）　9時～13時20分　ゴール後解散

　新型コロナウイルス感染症の感染拡大もひと段落した10月、銚子では初めてとなる「ユニセフ・ラブウォーク」を開催しました。前日からの雨が一転、お天気に恵まれ、約6.4キロの楽しいウォーキングとなりました。犬吠埼灯台白亜紀浅海堆積地にて千葉市科学館の新和宏さんに解説して頂いた後、景観を楽しみながら海沿いのコースを歩きました。千葉県最古の地層で、ジュラ紀の頃の地層と言われている犬岩について銚子ジオパークガイドの方が熱心にお話ししてくださいました。また一部の参加者は外川ー犬吠間を銚子電鉄に乗車、歴史を感じる駅舎や車内を楽しむことができました。

参加者　大人85名　子ども11名　幼児3名　合計99名
協力者・ボランティアスタッフ　27名
募金額　56,506円（参加費から 44,700円　募金箱 11,806円）新型コロナウイルス緊急募金

主催：千葉県ユニセフ協会
後援：千葉県　銚子市　銚子市教育委員会
協賛：東京サラヤ（株）　生活協同組合コープみらい千葉県本部　船橋歩こう会　（株）千葉銀行　葵養蜂

恐竜の歩いた道 散策コース（6.4キロ）をグループで歩きました。（グループの旗は銚子電鉄の駅名などです）

君ヶ浜しおさい公園自由広場 第1グループ銚子チームスタート

犬吠埼灯台にて新さんの説明

潮風を浴びて歩きました

外川漁港（家族でがんばりました）

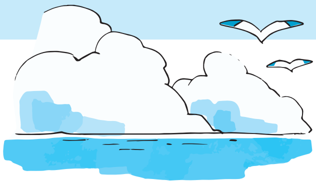
犬岩での説明

ジオパークボランティアの皆さん

銚子電鉄　外川駅　ここから一駅乗車のグループも

グループごとにゴール

お楽しみ抽選会　ご協賛のみなさまありがとうございました



当日の様子を動画で配信しています
ぜひご覧ください。　動画はこちら⇩

ユニセフ・ラブウォーク IN 房総のむら

スタッフで記念撮影

2021年11月23日(祝・火) 9時〜13時20分 ゴール後解散

今回で12回目となる「房総のむら」でのラブウォーク。今年は、ドラムの里を起点に「白鳳の道コース」「坂田ヶ池ぐるっとコース」で開催し、185名の方にご参加いただきました。

真っ青な空の下、それぞれ4Kmのコースを7〜8名のグループでゆっくり歩き、古墳群や龍角寺この地に伝わる民話ゆかりの梅など房総のむら周辺の歴史的文化財と自然を楽しみました。

また、東京サラヤ様のご協力で設置した「手洗いチェックコーナー」では、汚れに見立てた染料を使って、どれくらい汚れが落ちているか見ることができました。ゴール後は、ウォーキング中に実施したクイズの答え合わせ、ご協賛企業様よりご提供いただいた完歩賞・お楽しみ抽選会の賞品をお渡しして、自由解散となりました。

参加者　大人141名　子ども41名　幼児3名　合計185名
協力者・ボランティアスタッフ　46名
募金額　92,352円(参加費から 78.700円　募金箱13,652円)
新型コロナウイルス緊急募金

受付前に検温と健康チェック

スタート前にしっかり準備運動

主催：千葉県ユニセフ協会
共催：千葉県立房総のむら指定管理者(公財)千葉県教育振興財団房総のむら
後援：千葉県　千葉県教育委員会　成田市　成田市教育委員会　栄町　栄町教育委員会
協賛：ホテル日航成田　成田ゆめ牧場　日本食研ホールディングス(株)　東京サラヤ(株)
船橋歩こう会　葵養蜂　生活協同組合コープみらい千葉県本部　プロジェクト結

【コースのご紹介】

白鳳の道コース(4km)

ドラムの里(スタート) →

手洗いチェックコーナー

→

古墳広場でクイズ

→ 浅間山古墳 →

古刹　龍角寺

→

龍角寺にある庚申塚

→ 亀の子池 → ロケ写真館 → ドラムの里(ゴール)

坂田ヶ池ぐるっとコース(4km)

ドラムの里(スタート) → ロケ写真館 →

旧御子神家住宅を見学、江戸時代の農家の暮らしを体感

→

坂田ヶ池をバックに

→

民話に伝わる「片歯の梅」

→ 101号古墳 → 旧学習院初等科正堂 → 国指定史跡 岩屋古墳 → 手洗いチェックコーナー → ドラムの里(ゴール)

当選者発表
ご協賛の皆さまありがとうございました

参加賞・完歩賞

グループごとにゴール

龍角寺・岩屋古墳では、文化財サポーターの皆さんにご協力いただきました

使用済み切手で SDGsの取り組みを!

企業で、家庭で　身近で手軽な　SDGsの取り組みを実践しよう

12 つくる責任 つかう責任

千葉県ユニセフ協会では、使用済み切手がユニセフ募金につながる活動を実施しています。

皆さんのご家庭での片づけ・掃除で出てきた使用済み切手はもちろんこと、多くの企業様からも使用済み切手が千葉県ユニセフ協会に届けられています。そのまま廃棄してしまえば”ゴミ“となってしまう「使用済み切手」が、ちょっとした手間をかけることでユニセフ募金につながり世界の子どもたちを救う活動になることをご存じですか。様々な企業で、近年SDGsへの取り組みが話題となっていますが、このようなちょっとしたことで、企業だけでなく、私にもできるSDGsの取り組みになります。

今回は、その一例として、株式会社千葉ステーションビル様の取り組みを紹介します。

（株）千葉ステーションビル様では、社内で使用済み切手を集めるだけではなく、運営を受託している駅をご利用になる方からも使用済み切手を収集する活動を実施してくださいました。ポスターを作成し、構内アナウンスも実施、たくさんの皆さんからご協力をいただきました。今後も、SDGsの活動を継続の予定だそうです。

皆さんも手元に眠っている「使用済み切手」に活躍の場を与えてみませんか!

ありがとうございます!

今日も届きました「使用済み切手」!

ご家庭から・企業から

千葉県ユニセフ協会　切手仕分けボランティアの会　2021年の報告と2022年の予定

皆さんから送られてきた「使用済み切手」の周りをカットし仕分けをするボランティア活動を、2021年はオンラインで実施してきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため在宅時間が増え、外出もままならない中、多くの方がボランティア活動に参加してくださいました。また、夏休みを利用してのボランティア体験としての「切手仕分け」も実施しました。

1年間で7回の使用済み切手仕分けを行い、**日本切手54,500グラム・外国切手930グラムをフクオさんに送ることができ、28,180円のユニセフ募金となりました。**（*日本切手は1キロ500円・外国切手は1キロ1,000円のユニセフ募金となります。）ご協力いただいた皆さまありがとうございました。

2022年度も「切手仕分けボランティアの会」を行います。2022年度版のYoutube動画も配信しました。ぜひご覧ください。

使用済み切手について　2022年度版説明動画　2/3配信

切手仕分けボランティアの会　活動詳細の説明　2/22配信

2022年度「切手仕分けボランティアの会」実施予定

切手仕分け会	参加受付期間	切手到着予定日 切手返送締切日	実施日	参加方法
キックオフ会	2/14（月）～3/17（木）	3/22（火） 5/10（火）	3月24日（木） 10時30分～11時40分	Zoomまたは桜木事務所 ご自宅や会社にて
第2回	5/16（月）～6/16（木）	6/21（火） 8/9（火）	6月23日（木） 10時30分～11時40分	Zoom または桜木事務所 ご自宅や会社にて
第3回	未定	未定	夏休み親子で切手切り 詳細未定	会場を利用し対面で開催 詳細未定
第4回	9/20（火）～10/20（木）	10/25（火） 12/6（火）	10月27日（木） 10時30分～11時40分	Zoomまたは桜木事務所 ご自宅や会社にて
第5回	11/14（月）～12/8（木）	送付なし	12月15日（木） 10時30分～15時30分	桜木事務所にて最終整理作業

活動ファイル
(2021年8月～ 2021年12月)

■柏市
●9月22日(水)
柏市立大津ヶ丘第一小学校学習会(オンライン)
●11月21日(日)
ボーイスカウト柏第1団・第9団学習会

■流山市
●12月10日(金)
流山市立流山おおたかの森小学校学習会

流山おおたかの森小学校

■市川市
●10月25日(月)～11月8日(月)
クリーンスパ市川ユニセフパネル展
【コロナ禍の子どもたち】

■船橋市
●9月5日(日)
ボーイスカウト船橋第3団学習会(オンライン)
●11月21日(日)
ボーイスカウト船橋第1団学習会
●12月19日(日)
海岸ゴミ拾い&学習会
●12月1日(水)～2022年3月18日(金)
ふなばし市民活動フェア(パネル展示)

ふなばし市民活動フェア

■千葉市
●9月5日(日)～9日(木)
千葉市生涯学習センターユニセフパネル展
【コロナ禍の子どもたち】
●10月29日(水)
コープみらいブロック委員学習会(オンライン)
●11月7日(日)
真珠まりこさん講演会「もったいないには愛がある」
●11月27日(土)
Welcome UNICEF知ることから始めよう講演会
●11月29日(月)
千葉市立幕張小学校学習会
●12月4日(土)
ボーイスカウト千葉第18団学習会
●12月11日(土)
松本猛さん講演会「エリック・カールさんと私」
(対面・オンライン)
●12月12日(日)
ガールスカウト千葉市協議会学習会(オンライン)

■八千代市
●9月5日(日)
ガールスカウト千葉県第57団学習会(オンライン)
●11月23日(火・祝)
八千代市こども親善大使国際平和展

■印西市
●9月15日(水)
印西市立大森小学校学習会(オンライン)

■栄町
●11月23日(祝・火)
ユニセフ・ラブウォーク
IN 房総のむら

■銚子市
●10月23日(土)
ユニセフ・ラブウォーク
IN 銚子

■成田市
●8月4日(水)
コープみらい千葉3区ブロック学習会
●8月26日(木)・27日(金)
成田市生涯大学院学習会
●9月29日(水)～10月11日(月)
成田市役所ユニセフパネル展
【もったいないばあさんのワールドレポート展】
●12月12日(日)
成田市こどものまち実行委員会学習会

成田市役所

■東金市
●9月25日(土)
ユニセフ・ラブウォーク IN東金(中止)

■君津市
●12月14日(火)
第16回ユニセフ・サポートゴルフ大会

千葉市生涯学習センター

コープみらい学習会

千葉市立幕張小学校

オンラインでの活動
- 8月 5日(木)　オンラインユニセフボランティア活動へのお誘い(切手仕分けボランティア)
- 8月19日(木)　オンラインユニセフボランティア活動へのお誘い(切手仕分けボランティア)
- 8月17日(火)　SDGsで考えよう世界のこと(新聞教室)
- 8月20日(金)　SDGsで考えよう世界のこと(新型コロナウイルスとアフリカの現状)
- 8月30日(月)　スポーツの力　～ザンビアのパラリンピアンはTOKYO2020に何を見る?～
- 9月 9日(木)　切手仕分けボランティアの会
- 11月11日(木)　切手仕分けボランティアの会

ご協力ありがとうございました

unicef
（敬称略・順不同）

2021年8月〜12月

＊千葉県ユニセフ協会コード番号で振り込んでいただいた方については2021年12月末分まで、県協会に直接持参していただいた方や報告を受けた方については2022年2月15日分までを掲載させていただきました。個人ご協力者のお名前の掲載は控えさせていただきました。

●一般募金（ハンド・イン・ハンド募金含む）

流山manabiラボ、八街市立八街中央中学校、ガールスカウト千葉県第57団、(宗)中山身語正宗関東教区青年部、千葉県県土整備部都市整備局住宅課、ボーイスカウト市原第1団、真珠まりこさん講演会、Welcome UNICEF知ることから始めようSDGs目標6安全な水とトイレを世界中に、千葉県環境生活部事前キャンプ・大会競技支援課、千葉県健康福祉部障害福祉事業課、千葉県防災危機管理部消防課、千葉県県土整備部都市整備局都市計画課、千葉県県土整備部港湾課管理調整班、千葉県商工労働部観光誘致促進課、千葉県県土整備部都市整備局下水道課、千葉県庁子育て支援課、千葉県農林水産部水産局水産課、千葉県県土整備部用地課、千葉県県土整備部技術管理課、千葉県商工労働部産業人材課、千葉県環境整備部水質保全課、千葉県県土整備部道路環境課、千葉県農林水産部漁港課、千葉県庁畜産課、千葉県県民生活・文化課、ボーイスカウト千葉第18団、松本猛さん講演会、第16回ユニセフサポートゴルフ大会、千葉県県土推進部施設改修課、千葉県環境生活部オリ・パラ局開催準備課、千葉県県土整備部営業課、(株)マザー牧場、千葉県防災危機管理部消防課、千葉県総務部政策法務課、千葉県農林水産部農林水産政策課、千葉県環境生活部くらし安全推進課、千葉県農林水産部生産振興課、千葉県総合企画部国際課、千葉県健康福祉部障害者福祉推進課、千葉県総務部情報システム課、ボーイスカウト八千代第5団、千葉県総合企画部報道広報課、千葉県商工労働部企業立地課、ガールスカウト千葉県第52団、ボーイスカウト船橋第1団、八千代市企画部シティプロモーション課、旧船橋市民生協八木ケ谷地区委員会、ボーイスカウト船橋第3団、千葉県ユニセフ協会第23回理事会・評議員会、印西市立原山小学校、千葉県総務部行政改革推進課、(私)小ばと幼稚園、千葉県総務部税務課、千葉県農林水産部流通販売課、千葉県総務部総務ワークステーション、千葉県県土整備部県土整備政策課、千葉県健康福祉部健康福祉指導課、千葉県商工労働部観光企画課、ボーイスカウト千葉第14団、ガールスカウト千葉県第39団、ガールスカウト千葉地区協議会、千葉県総合企画部統計課、千葉県健康福祉部保健指導課、ガールスカウト千葉県第11団、クリーンスパ市川、(株)和郷

ボーイスカウト船橋第3団様

(株)千葉ステーションビル様

八千代市シティプロモーション課様

●新型コロナ緊急募金

ユニセフ・ラブウォーク IN 銚子
ユニセフ・ラブウォーク IN 房総のむら

●外貨・使用済み切手

生活協同組合コープみらい千葉県本部、国際ソロプチミスト小田原、大和ハウス工業(株)栃木二宮工場、(株)千葉ステーションビル、日本税関労働組合、(有)須賀川環境エンジニエア、美濃加茂市地域振興課、糸島市国際交流協会、損害保険ジャパン(株)千葉支店成田支社、京都中央信用金庫樫原支店、(株)京葉銀行、(株)義建工業、(株)島貫土建、(株)サイト、ボーイスカウト船橋第3団、(株)渡辺興業永福引越センター、(株)大京アステージ京都支店、(株)ナリコー、船橋歩こう会、(一社)鴨川市観光協会、Y's Auto Company、ちばぎんVネットクラブ、(株)MTトランスポート、八千代市シティプロモーション課、(株)ペリエビルサービス、(株)武蔵野千葉工場、(有)矢内産業、(株)マザー牧場、昭和マテリアル(株)、(株)インターオプチカル、(株)紀文食品東京工場、ごみょう整形外科クリニック、積水ハウス(株)神奈川シャーメゾン支店、小橋保険コンサルタント(株)、損保ジャパンパートナーズ京都支店、FLASH(株)、(株)グリーンアローズ中部、朝日機材(株)、ハートフルマンション(株)、(株)シンボ、中央工機産業(株)京浜営業所、(株)エム・アイ、(株)ボーダレス・ジャパン、(株)ホテルオークラ東京ベイ、橘俳句会、クリーンスパ市川

◆◆◆ユニセフのつどい2022開催決定!◆◆◆

「マシンガンズ滝沢さんと考えよう! SDGsと環境問題（仮題）」

7月23日(土)　千葉県教育会館大ホール
講師：お笑い芸人「マシンガンズ」滝沢秀一氏

お笑いコンビ「マシンガンズ」として活動の傍ら、ゴミ収集会社で清掃員として勤務し、格差社会やゴミ問題など清掃員の日常をつづったSNSが人気の滝沢秀一さんを講師にお迎えします。

開催内容の詳細やお申込み方法などは千葉県ユニセフ協会のホームページ・Facebookでご案内します。

千葉県ユニセフ協会→ホームページはこちらから

ゆうちょ銀行窓口での募金の振り込み
（口座番号：00190-5-31000）には
各種手数料はかかりません

通信欄 k1-120千葉県ユニセフ協会とご記入ください

2022年度ユニセフ・ちばフレンズ（賛助会員）を募集しています

ご協力をお願いいたしします。

種類	会費	口数
個人	2,000円(1口)	1口以上
企業・団体	2,000円(1口)	5口以上

2021年度会員 個人：87名（109口） 企業・団体11団体（245口）

日本ボーイスカウト千葉県連盟	(一社)ガールスカウト千葉県連盟
(株)京葉銀行	(株)千葉銀行
(一社)千葉県商工会議所連合会	「小さな親切」運動ちばぎん支部
(株)グリーンタワー	日本労働組合総連合会千葉県連合会
千葉県青少年団体連絡協議会	(株)マザー牧場
ジェフユナイテッド(株)	

「小さな親切」運動ちばぎん支部
代表 篠崎忠義様